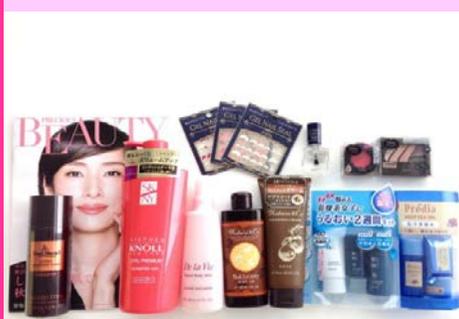


企業名		株式会社エイチ・アイ・エス
	名称	農業体験 & 交流ツアープロジェクト
	目指すこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 食育、自然体験(教育)</li> <li>* 農業の良さ・可能性を発見(啓蒙)</li> <li>* 第二の故郷作り(交流)</li> </ul>
	内容	* 農業女子を訪問し、学び、体験するツアー
農業女子プロジェクトとのこれまで・これから		<p><b>【これまで】</b>          * 農業女子・菅野瑞穂さんとの福島を学び・農業で交流するスタディツアーを企画・販売(継続中)</p> <p><b>【これから】</b>          * 農業女子の方と旅行を通して仕事を学ぶ旅を検討(職業体験の旅)          * 農業女子プロジェクトとして、農業女子が伝える一般の方向けイベント(食を通して土と共に生きる生き方を提案するなど、農業を身近に感じるイベントやコミュニティづくり)をやっていただき、それにより集まった方々へ向けたツアーを企画し、実施したい。就農を身近なことにするには、農業と生活をつなげることで興味をもつ層を増やし、そうした方々を囲い(第一段階)、ターゲットへ向けた体験ツアーやインターンを増やすこと(第二段階)が必要だと考えます。第二段階としてスタディツアーを提案できればと考えています。</p>

企業名		株式会社 コーセー
	名称	農業女子Beauty Project
	目指すこと	化粧品のキット使用後の感想(使用感・改善案など)をフィードバックいただくことで、アウトドア環境における使用者の声として社内で共有し、今後の商品企画・開発・改善に役立てます。
	内容	農業女子の就業環境に適した化粧品を年2回キットとして提供し、使用後の感想をフィードバックいただきます。
農業女子プロジェクトとのこれまで・これから		<p>【これまで】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*化粧品キット提供</li> <li>*自然派ブランド「ネイチャー アンド コー」ブランドサイト内での農業女子登場(安全性・自然のイメージからブロガー様と並列で掲載)。</li> <li>*参画企業のTANITA様、H.I.S.様と連携したPR活動を実施。</li> </ul> <p>【これから】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*これまでと同様に自然派ブランドサイト内での、農業女子登場など露出を増加、継続。</li> <li>*ファッションに親和性の高い企業様との連携を拡大。</li> </ul>

企業名		株式会社サカタのタネ
	名称	農業女子発！「新野菜」の需要創造プロジェクト
	目指すこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>*「新野菜」の個性と魅力の発信と需要創造</li> <li>*農業女子と、「新野菜」が食卓を美しく彩るシーンの提案</li> <li>*農業女子の持つ消費者視点を取り入れた商品の開発・提案</li> </ul>
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>*新品種はもちろん、今までにもあった野菜の新たな栽培方法や新たな販売提案に取り組み、「農業女子」目線で野菜の新しい魅力を発見・発信する。栽培・販売両面での成功事例を共有する。</li> <li>*取り組んだ野菜を使って、「農業女子」ならではの食のシーンを提案する。</li> <li>*「農業女子」が顧客に届けたい野菜の開発に繋げる。</li> </ul>
農業女子プロジェクトとのこれまで・これから		<p>【これまで】</p> <p>6月：キックオフミーティングで「新野菜」の可能性や課題について意見交換。</p> <p>8月：メンバーが興味を持つ「新野菜」の試作スタート。全員で一緒に取り組むのはサラダハクサイの新品種「タイニーシュシュ」。</p> <p>10月：第2回プロジェクトミーティング。当社子会社の畑で作物を見ながら栽培技術について情報交換。試作野菜を活用した今後の情報発信について意見交換。</p> <p>【これから】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*11月：研究農場で勉強会を開催。</li> <li>*今年の試作・販売結果、及び、農場勉強会をもとに、具体的な食のシーン提案に向けトライアル栽培を継続。</li> <li>*栽培した野菜を利用して、他のPJ企業とのコラボも視野に入れながら、レストラン又はマルシェイベントを実施し、「農業女子」ならではの「新野菜」需要創造のストーリーを描く。</li> <li>*当社メディア（ネット&amp;紙）を通じ、「新野菜」の需要創造にチャレンジする「農業女子」を紹介、広く社会一般にはもちろん、同じ栽培現場に立つ農業者にも取り組みを伝える。</li> </ul>



栽培方法や収穫タイミングによりいろいろなサイズで出荷可能なため、メンバーそれぞれが出荷先のニーズに合わせたサイズ、提案方法を模索している。



新しい野菜は食べかたの提案が大切というのがメンバーの共通認識。(写真はタイニーシュシュのシーザーサラダ)



青果売り場に飾るPOPやレシピパンフ、出荷資材なども、農業女子目線を取り入れた工夫を取り入れる予定。(写真は現行の販促物)

メンバーみんなで試作・試験販売に取り組んでいる新品種のサラダハクサイ「タイニーシュシュ」。



新しい野菜は栽培情報の蓄積も少ない。当社農業法人子会社「たねとファーム」も活用し、メンバーとの栽培情報の共有、課題解決の手助けをおこなっている。(写真は横浜市内のたねとファーム圃場)



第2回プロジェクトミーティングでの栽培情報交換の様子

企業名		株式会社タニタ
	名称	(第1期)インタビューティーを創ろうプロジェクト (第2期)未定
	目指すこと	*タニタ商品やサービスに農業女子の持つ知恵を取り入れ、相乗効果をはかる。 *ヘルシーなプラスイメージを一緒に発信し、若い世代の農業事業者を増やすこと、健康リテラシーアップをはかる。
	内容	*タニタ商品をモニターしていただき、今後の商品開発やプロモーションに活用。 *タニタの持つ食のコンテンツとコラボレーションを検討(メニュー開発やイベント等を展開)。
農業女子プロジェクトとのこれまで・これから		<p><b>【これまで】</b> *「農業女子ブリリアントボディー化計画」を2014年7月～10月までの3カ月間実施。タニタの持つ健康サービス「健康プログラム」をモニターしていただき、農業女子の健康・美容をサポート。本プログラムではコーセイ様にもご参加いただき、内面、外見両面からのトータルで美のサポートを実施。成果発表として11月5日にビューティーアワードを開催。 *屋外で使用できる熱中症指数計をモニターしていただいた。まだ開発第1弾商品であるため、いただいた意見を第2弾商品に反映していきたい。</p> <p><b>【これから】</b> *タニタの持つ食のコンテンツと農業女子のコラボレーションにより、互いの相乗効果を生み出す取組を検討中。 *商品のモニター等を通じて、農業女子の意見を取り入れることにより、商品の開発・改善等に役立てることを検討中。</p>

企業名		ダイハツ工業株式会社
	名称	『“私の”軽トラック』プロジェクト
	目指すこと	<p>* 高齢化・就業人口減少の進展やグローバル動向など今後の環境変化に対し、「法人・企業・女性」を切り口にイノベーションを図る農業界の動きに合わせ、農業女子の視点も取り入れた次世代の軽トラックを企画・開発し、新規需要の掘り起こし・話題性喚起を図る。</p>
	内容	<p>* 農業女子の軽トラックの使用実態・ニーズの明確化と、それに基づく魅力的な軽トラックの仕様・装備・意匠等の具現化。</p>
農業女子プロジェクトとのこれまで・これから		<p><b>【これまで】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 全国7箇所(北海道、山形、千葉、埼玉、石川、兵庫、熊本)、計38名の農業女子を訪問。軽トラックの使用実態や要望の確認および商品アイデアへの評価を実施。</li> <li>* 2014年2月27日に安倍昭恵首相夫人ご参加の拡大ミーティングを実施。</li> <li>* いただいたご意見・ご評価を基に、全8色のカラフルなボディカラーや、女性に嬉しい装備などを織込んだ新型ハイゼットトラックを開発。</li> <li>* 2014年9月2日に、農水省・安倍昭恵首相夫人・農業女子メンバー・参画企業の皆様にご参画いただき、過去に無い規模での新型ハイゼットトラック報道発表会を実施。</li> <li>* コラボイベントとして、2014年9月22～23日農業女子マルシェ@東急ハンズ札幌店、10月12日アグリアート・フェスティバルに参画。</li> </ul> <p><b>【これから】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 継続して農業女子訪問調査を実施、新型ハイゼットトラックの更なる魅力アップに繋げる。</li> <li>* 農水省・農業女子メンバー・参画企業と連携しコラボイベントを継続実施。</li> </ul>

<p>企業名</p>	<p>株式会社 東急ハンズ</p>	
  	<p>名称</p>	<p>教えて！農業女子プロジェクトⅡ</p>
<p>目指すこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業女子の知識をお借りし新たな観点での商品開発を行う</li> <li>・ 歳時記に新しい考え方を店頭で表現し、店頭などの活性化を行う</li> </ul>	
<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自由研究というテーマに農業女子のお知恵からの商材の開発</li> <li>・ 歳時記のテーマに合わせた生産品を利用した新たな展開と販売を合わせて実施</li> </ul>	
<p>農業女子プロジェクトとのこれまで・これから</p>		<p>【これまで】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 1期ではバレンタイン、母の日で新たな観点での販売を行い大変好評をいただきました。</li> <li>* 初めてダイハツさまとのコラボイベントも実施でき、発見という観点でもかなりの効果があったと考えます。</li> </ul> <p>【これから】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* バレンタイン、母の日の販売をバージョンアップさせ、館内に入居している店舗や館を含めたイベントを実施できればと思います。</li> <li>* 他企業さまと共同での店頭展開を模索したいと思います。</li> <li>* 前回同様、農業以外でのお知恵を幅広く発信できればとも考えます。</li> </ul>

企業名		日本サブウェイ株式会社
 	名称	農業女子的 野菜が喜ぶメニュー開発プロジェクト
	目指すこと	野菜を通して日本人の「健康寿命」を伸ばす、という日本サブウェイのビジョンを具体化した商品の開発、提供。お客様へのサブウェイミッションの伝達、浸透。 女性農業者の「食を扱う」「健康づくりに貢献する」職業者としての意識づけや意識向上への寄与。
	内容	メニュー開発にあたって、農業女子にも「日本サブウェイのミッション」や「フランチャイズという業態」や「お客様に食品を提供する者としてのあり方」などを勉強してもらうために、セミナーを開催。 その上で、サブウェイのサンドイッチを更においしく健康的に味わうためのサイドメニュー開発を実施。
農業女子プロジェクトとのこれまで・これから		<p>【これまで】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*4名の農業女子メンバーが参加し、2013年11月よりプロジェクトがスタート。</li> <li>参加メンバーは、まずサブウェイのブランドコンセプトについての講義やマーケティング、商品開発等の研修を受け、「農業活性化に貢献し、野菜を通して、日本人の『健康寿命』を伸ばす」というサブウェイのビジョンについてしっかり理解した上で、開発に着手。</li> <li>*全国の農業女子メンバーへも、野菜について、食べ合わせやこぼれ話、食以外の地域の慣習等についてのアンケートを実施。</li> <li>*合計7回のミーティングを経て、農業女子ランチバッグが完成！</li> </ul> <p>2014年10月8日～22日、ランチバッグ「畑からの贈り物」を3店舗限定で販売。</p> <p>4名の農業女子が丹精込めて育てた旬の作物と、古来二十四節季の「寒露」という季節にふさわしい食材を組み合わせ、夏から秋の疲れを癒す効果があるといわれるビタミンやカルシウムを含む、きのこや野菜を盛り込み、素材を生かした、こだわりの商品となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 参画企業とのコラボとして、レンタルのニッケン、ダイハツの商品発表会にサンドウィッチを提供。</li> </ul> <p>【これから】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 今後も農業女子の持つ知恵やアイデア等を参考にし、野菜を通して日本人の「健康寿命」を伸ばす、という日本サブウェイのビジョンを具体化した商品の開発に生かしていくこととしている。</li> </ul>

<p>企業名</p>		<p>(株)丸山製作所</p>
	<p>名称</p>	<p>女性が求める”草刈作業”応援プロジェクト</p>
	<p>目指すこと</p>	<p>* 女性がする草刈作業を、わかりやすく、快適に、安心してできるようにすること。 * 女性ニーズを具現化した「草刈作業応援商品とサービス」を提供すること。</p>
<p>農業女子プロジェクトとのこれまで・これから</p>	<p>内容</p>	<p>* 女性が行う草刈作業で困ったこと、知恵を絞ってやっていること、機械を使う上でわからないことを教えていただき、明確にしていきます。プロジェクトを通じ、安心・快適作業ができる商品作りとプロモーションへ繋げていきます。</p> <p>・当社で生産販売している刈払機・各種アタッチメントの取り扱い研修を実施。 ・商品モニターと意見交換会を実施し、女性の求める機械・道具の開発に繋げていきます。</p> <p>【これまで】 * 農業女子10名にご協力を頂き、第1回キックオフ大会を開催しました。大会では草刈機を使用して頂き、貴重なご意見を頂きました。頂きましたご意見は今後の商品開発に生かしていきたいと思っております。また、1月に第2回キックオフ大会を開催する予定です。</p> <p>【これから】 * 農業女子の意見を取り入れた草刈機及び関連装備品の開発・販売に努めます。 * ハウス・小屋など屋内作業の環境改善にも関心があります。 * 農業以外の分野・用途での技術貢献も模索していきます。 * 安心作業には装備が大切です。服装や化粧品などコラボを期待しています。</p>